



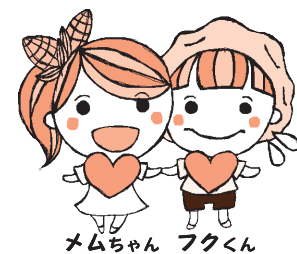
「社協」とは、社会福祉協議会の略称です。
〒082-0014
北海道河西郡芽室町東4条4丁目5番地
芽室町保健福祉センター(あいあい21)
☎62-1616 ☎62-1657
芽室町社会福祉協議会公式HP
<https://www.memuro-syakyo.jp/>

芽室町社会福祉協議会は、地域福祉事業と介護保険事業が一体となり、「支えたり」「支えられたりする」地域共生型のめむろの実現を目指します。

総務課、地域福祉課、介護事業課の3課と調整機能をもつ特命担当で構成されています。

◎直通電話を開設しました。

訪問介護事業所 (ホームヘルパー) ☎29-1192
居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) ☎29-1193



メムちゃん フクくん



10月1日より赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

～赤い羽根共同募金は地域福祉活動を支えています～

じぶんの町を良くするしくみ 「赤い羽根共同募金」への「ご協力をお願いします」

赤い羽根共同募金運動は、わたしたちの住む芽室町をより良くしようとする取組を、活動への参加や募金を通じて広く社会で応援し、一緒に進めていくための民間の運動です。

皆さまからお寄せいただきました募金は地域の実情に即して、その使い道が決められます。「芽室町で集めた募金は芽室町及び北海道広域で使われる」こととなります。

芽室町共同募金委員会では、各世帯を対象とした封筒募金と企業・事業所などを対象とした法人募金、街頭募金などを行っていますが、募金は皆さまの「善意・任意」で、ご協力をお願いしています。

なお、募金活動に際しては、新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施しております。

封筒募金へご協力をいただき、封筒に×印の記載がなかった方と、法人募金へご協力いただいた企業・事業所などのお名前は、11月以降の社協だよりへ随時、掲載いたします。

なお、募金額の掲載はいたしませんので、ご了承ください。

赤い羽根共同募金グッズを頒布しています

寄付金付きピンバッジやその他グッズの募金活動を実施しております。数に限りがございますので、なくなり次第終了となります。

寄付金付きピンバッジは500円以上で、クリアファイルは300円以上でおひとつ進呈しています。お見かけの際は、どうぞよろしく願います。

グッズ募金とは、より楽しく募金していただくために、道内のスポーツチームやバーチャルキャラクターの初音ミクなどとタイアップした赤い羽根共同募金グッズを作成して募金運動を展開しております。製作費を除いた金額が芽室町の募金となります。

芽室町限定 バッジ
北海道限定 バッジ



クリアファイル



Art by mo © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro



Art by yusufu10 © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

地域交流サロン

地域交流サロンって、何をするの？

地域交流サロンは、芽室町にお住まいの児童・乳幼児とその親、高齢者、障がい者の方等、参加者を限定せず、参加を希望される方は誰でも自由に参加ができる集いの場です。気軽に集い、お茶を飲みながらのんびりと自由に楽しい時間を過ごし、地域の人と出会い、お互いの安否確認、顔なじみの輪を広げること、閉じこもりを防ぎ孤立感が軽減され楽しみができてきます。参加は、事前申込などは不要です。

ご都合に合わせて、途中参加、途中退出など自由となっております。お待ちしております！



社会福祉協議会登録サロン

ラベンダー会 お世話役：ありじ ななえ
日時：毎月第1水曜日 午前10時から正午
場所：南地区コミュニティーセンター

サロンはまなす お世話役：いそがい ゆきえ
日時：毎月第2金曜日 午後1時から午後3時
場所：元磯貝塾

ウェルカム お世話役：ふくい きょうこ
日時：毎月第3水曜日 午後1時30分から午後3時
場所：南地区コミュニティーセンター

にこにこサロン愛生 お世話役：かわはら すえこ
日時：毎月第1月曜日 午前10時から正午
場所：愛生地域福祉館



にこにこサロン愛生



サロンはまなす



ラベンダー会



ウェルカム



サロンはまなす



ラベンダー会

こんにちは！ボランティアセンターです

ブログ：「ふたば」と「なごみ」のぽかぽか日記）～nagomi.kakuren-bo.com/
芽室町ボランティアセンター（担当：柏葉） ☎61-3631 FAX62-1657

「～だけならできるよ!!」

「つなぐ」「つながる」「つなげよう」で支え・支えられ・支え合いの活動中!!

ふれあいサロン「なごみ」発 なごみサポーター活動中!

「なごみ食堂」特集 ～食を通したつながりの輪～

集い・語らいの場、ボランティア活動のスタートラインとして実施しているなごみ食堂。6月～9月に5回開店しました。メニューはカレーライス、おしるこ、三色丼、手打ちそば。お料理する人が毎回ちがうのが特色で、カレーライスは2回ありましたが、具材やサイドメニューもそれぞれ工夫されていました。スタッフも「この食堂が楽しみになった」「(スタッフに)誘われて来てみた」という参加者も、皆さん食堂を支える『サポーター』です。



①ただ今、準備中



②開店前のひと時



③ようこそ！食堂へ



④いただいています

なごみ食堂では、調理してくれる方を随時大募集!!

ふだん、ご家庭でお料理している一品メニューをなごみ食堂でつくりませんか？

- ・地元じゃがいもをつかったコロケック ・冬の料理の定番 あつあつおでん
- ・シチュー ・餃子 ・うどん ・ポテトサラダ ・フライドポテト などなど

例えば



今、すぐには出来ないけど
～できる時に参加・利用、サポートできる方、大募集！～
「こんな活動したい・活動しているよ」という方もお待ちしております。



お知らせ

ガーデン・美化活動

日時 11月7日(月) 8時45分～9時45分
11月12日(土) 9時30分～10時30分
*雨天中止

場所 ふれあいサロン「なごみ」

つなぐ・つながるボランティアサロン

日時 11月11日(金) 14時～15時

場所 ふれあいサロン「なごみ」 *クリスマスイベント準備
なごみ食堂

日時 11月12日(土) 11時～13時

メニュー スパゲティナポリタン

日時 11月26日(土) 11時～13時

メニュー おたのしみ

場所 ふれあいサロン「なごみ」

*事前予約制 先着30名

食事代300円(小学生以下は無料)

芽室町介護予防ポイント推進事業

ボランティア活動を通して介護予防を推進する制度です。

★介護予防ポイントとは

65歳以上の町民の皆さんが対象です。

活動の登録をして、指定された施設などでボランティア活動をするとポイントを受け取ることができます。

*1時間の活動で1ポイント、1日の上限は2ポイントです。

★ポイントの交換(1ポイント=100円として交換できます)

●交換内容

- ・商工会商品券 *5ポイントごとに1枚と交換
- ・体育施設共通利用券 *20ポイントごとに1冊と交換
- ・Mカード(めむるポイントカード)会
- *1ポイントごとに100円分と交換

★詳しくはお問い合わせください。

インフォメーション

心配ごと相談日程

10月26日(水)

時間 13時15分～15時30分

場所 保健福祉センター2階「静養室」

専門相談員 今野 峯夫さん(人権擁護委員)

佐々木 晴彦さん(学識経験者)

11月9日(水)

時間 13時15分～15時30分

場所 保健福祉センター2階「静養室」

専門相談員 白銀 孝志さん(人権擁護委員)

中川 ゆかりさん(人権擁護委員)

・問題解決に向けたアドバイスや関係機関などへの橋渡しを行います。

・おおむね月2回、第2・第4水曜日に開設しています。

関生活支援係 ☎62・1616 (担当：中川)

ミニふれあい交流会を開催しました

9月30日に大和福祉会館で、かつての「ふれあい交流会」の同窓会として開催しました。11名の方が参加され、懐かしい顔ぶれに自然と笑みがこぼれ、「久しぶりだね!」「三元気だったかい?」など声を掛け合い、おしやべりを楽しみ、お楽しみ会では、スカットボールを行い、競技者も見ている人もハラハラドキドキ、時に笑いが起き、98歳男性の優勝が決まると拍手が沸き起こるなど、楽しい時間を過ごしました。



街頭募金のご協力に感謝いたします

10月1日から赤い羽根共同募金が全国ではじまりました。オープニングイベントとして、(株)ダイイチ芽室店様のご厚意によりまして、街頭募金を実施させていただきました。多くの皆様から心温まる募金をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。

今年は3年ぶりに芽室高校ボランティア部の4名の生徒さんが参加してくださり、芽室町共同募金委員会の役員とともに募金活動を盛り上げていただきました。



シリーズ しゃきょうの 介護VOL.4

小規模なばに通り入浴や食事、自宅を訪問して買い物や掃除等のお手伝いをさせていただいていた1人暮らしの女性が、先日町内の施設に入居されました。近くに支援を受けられるお身内はいらっしゃいません。そんな状況の中で「住み慣れた自宅で暮らしたい」という思いと、「入居した方が安心」という気持ちの間で、揺れながらの入居でした。

これまでとは違う環境や決まりの中で、これに本当に良かったのか...再び不安や迷いが生じたのでしよう。入居から数日、食事を摂れていない状況を知り、ふたばご利用時より、不安な時、悲しい時に、一緒に散歩やドライブをした職員2人で、女性を訪ねました。南向きで陽当たりの良い、明るいお部屋。ベッドで女性性は横になつていましたが、私たちを見るなり、「あらあ、MさんとHさん、来てくれたの!!」と笑顔。

ゆびきり、げんまん...

施設に入居した女性との「約束」



入居して数日しか経っていませんでしたが、ふたば時代を懐かしむように、職員1人ひとりのエピソードを、溢れ出るように聞かせて下さいました。部屋で話すこと、1時間。最後に介護職員のMが、「元気でいて欲しいから、ご飯を食べること、廊下を歩くこと...約束ね」と小指を差し出し、2人は「ゆびきりげんまん、嘘ついたら針千本のぞます。指きつた!!」。その日の夕方、施設より電話をいただき「初めてご飯を食べてくれました」。女性にとって大事な人との指切りは、どんな薬よりも効果がありました。私たちはこれからも、施設入居した後でも、できる支援は続けていきます。そして、芽室町内の介護事業所全体が、1人の「幸せ」のために、垣根を越えて協力し合える関係でいたいですね。